

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 3 年 3 月 10 日

事業所名 社会福祉法人 戸田藪福社会 あすなろ学園 保護者等数(児童数) 34 名 回収数 28 名

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍だと密になりやすくなる。…が広すぎても見るに大変。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3密を回避するため、グループ分けしながら対応しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	7	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策などもあり、先生の人数がもう少し多いのと同じに思うことがありました。① ・(専門性が〇で囲われていて)不安に感じることも少しあった。① ・時折人員不足を感じます。① ・先生によって差がある。1クラス3人+サポートが常にあるとよい。① ・運動発達や精神発達の先生もいらっしやるので安心。ただ、もう少し人数に余裕があるとイイ。① ・先生の人数がもう少し多いと安心できる。バスの先生が2人だといいと思う。② 	<ul style="list-style-type: none"> ①配置基準は満たしていますが、よりよい支援をしていくために、計画的な職員配置を検討していきます。また、現職の中で支援の充実を図るため、指導の工夫(グループ指導など)もしていきます。 ②バス添乗職員は、児童の状況によっては(バス内で不安定になる等)随時、職員体制を2名にするなどの配慮はしていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	21	5	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードがあって写真で色々とわかりやすくなっているのに、子どもに対して利用されていない。① ・脱走をする子なので、鍵などをもう少し配慮してほしい。② ・歩くのが困難な子に対して補助器具などがあるとありがたいと思います(歩行器や支えになるもの)。③ 	<ul style="list-style-type: none"> ①クラスによって活用の仕方が異なっています。全体で活動の流れを確認する時や、個々に対応し見通しを持たせる関わりをしています。 ②鍵の施錠は徹底していきます。また、子ども自身で鍵の開閉をしてしまうことに関しては、鍵の交換をすぐにはできないため、児童の行動状況を職員全体で把握し、安全掌握に努めていきます。 ③補助器具等については、他児童との兼ね合いを考慮し、全体の安全が確保できる状況の中で利用できるか今後検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭が広くのびのびと遊べる。 ・コロナ禍で毎日消毒していただき清潔、安全が保たれています。 ・先生方は毎日キレイにしてくれていますが、設備が古いので心配なところもあります。お湯が出ないのはツライ①。 ・子供のトイレの数が足りているのか、手洗い場が外しかないので雨天や冬場がたいへんそう。① ・キャッツやライオン室は古く感じる。① ・手洗い場とクツ箱の場所が土足かそつでないかあまい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①老朽化、トイレについては園としても課題と感じています。真水に関しては、日常的ではないですが、遊びの内容によっては、シャワー室のお湯を活用しています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	25	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に関してはよくやってくれています。それ以上でできるようによく見てくれています。保護者ともっと細かく話せるようになるといいなと思います。 ・家庭で取り組んでいることを学園生活にも取り入れてくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園、面接、懇談会などいろいろな機会を通して丁寧に説明していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	4	0	1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・親の希望を良く聞いて下さいます。 ・先生たちなりに工夫しており一人一人の目標を提案してくれます。 ・最初はされていたがだんだんさなくなってきた。もう少し工夫してほしい。① 	<ul style="list-style-type: none"> ①計画の見直しを適時行い、また、保護者とも話し合う機会を設けながら進めていきます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	7	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月ちがう内容で楽しませてくれます。 ・使っている玩具が固定化されているので、たまには変えてほしい。① ・幅広いプログラムとは言えないかもしれませんが。(今年度は仕方ないです)① 	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもの発達や興味に合わせ今後もプログラムを工夫していきます。
	9 児等発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	7	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・例年は交流があるようですが、今年はコロナが流行していたので、ありませんでしたのでわかりません。 ・今年度のように感染症が流行した時は、そのような関わりがなくなるのは分かるが、代替があればいいと思う。 ・コロナ禍の為 交流はできるだけさせてほしい。 ・今年度はやむをえないです。 ・今年度はコロナの為交流等一切なかったのわかりません。 ・今年度に関してはしかたのないことだと思います…残念ですが。 ・コロナの問題があるので、交流はむずかしそうです。 ・去年はなかったですが仕方ないと思います。 ・コロナ禍なので仕方ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年は近隣の保育園との交流がありますが、今年度は新型コロナウイルス感染症のため未実施です。今後感染症の状況と交流先保育園と相談しながら検討していきます。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の時にされた。 ・負担額の変更について書面でも口頭でも説明がありました。 	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21	1	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・された記憶がない。(コロナのせい?) 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年は、面接を設けて説明していますが、今年度は紙面での確認とさせていただきます。(5月中旬～下旬頃に確認印をいただいています。) ・児童発達支援ガイドラインに基づき総合療育指導計画を作成しています。(その具体化「あすなろ学園しおり」を開始の会で説明)しかし、「あすなろ学園しおり」の説明の時に、ガイドラインについても概略的に説明することにします。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	15	7	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園以外ない。 	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	22	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園の時に先生方と話す機会がある。 ・日々会話をしているので様子が想像できて安心につながっている。 ・担任の連携不足かたまに伝わっていない事がある。① ・バスでの通園の場合、なかなか話すこともできず親子通園の時のみになってしまう。① 	①職員間での情報共有を今後より丁寧に行っていきます。また、気になることや不安に感じたことなどある場合は、その都度職員に声をかけて下さい。内容によっては面接等を設け、共通理解しながら子どもと関わっていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	8	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・なるほど…と思える助言や参考になる対応の方も多くおられる。 ・家庭訪問の代わりに個人面談をしてほしかった。 ・親身に丁寧に行われています。 ・相談にもすぐ乗ってくれる。 	
保護者への説明等(続き)	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はありませんが、例年はあるので、今年度はコロナの為 交流等一切なかったのでわかりません。 ・コロナのためなし。 ・コロナで行われていない。 	
	16 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	5	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・家でのケガもすぐ見つけてくれるくらい気にかけてくれる。 	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園がなくバス送迎だと子どもの様子がわからない。連絡帳は難しそうなので、週1でもこんなことをしているとわかると安心。 ・連絡帳に今日の様子とか書いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学園のしおりP7にも掲載していますが、児童の安全掌握が優先のため連絡帳への日々の掲載は難しいです。子どもの様子が知りたい、気になることなどある時は、遠慮なく電話や見学などしていただきたいです。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	25	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・あすなろだよりやクラスのおたよりが発行されている。 ・クラスたよりはとともうれしいです。 ・HPを見る機会がありません。ごめんなさい。 	
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	26	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の際の写真の取りあつかいがしっかりされている。 	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26	1	0	1		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・災害用伝言ダイヤルを使った訓練がされている。 	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	27	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったと帰ってきて、本人も通うことが好きそうです。 	
	23 事業所の支援に満足しているか	25	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に満足しているが、細かい不満はあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな事柄でも、気になることや不満に感じた事等はその都度話して頂き、相互に理解しながら支援していきたいと思えます。

この「保護者等から事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月10日 事業所名(社会福祉法人 戸田蕨福祉会 あすなろ学園)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの指導室の他補助室、廊下、プレイルーム等があるが、クラスで調整しながら活用している。しかし、毎日通園している児童の他にも、地域支援業務等(発達相談、カンガルー通園・その他相談)でも補助室等の使用があるため、そういった時は調整することが難しい時もある。何とか工面しながら行っている。 ・コロナ禍という中で、地域支援サービスの1つであるカンガルー通園がある日は使用場所の調整が難しかった。その中で、通園を1クラス休みにし、指導室をカンガルー通園で使用したり、時間を調整するなど様々な対応をしながら行ってきた。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	8	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置の基準は満たしている。しかし、指導内容や子供の状況によっては職員の支援が必要。そういった場合は、地域支援課職員がフォローに入る等調整している。 ・職員の産休、育休、病休など長期休暇職員時は臨時職員で補っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童登園門のスロープの傾斜が急すぎるため、児童登降園時は安全の見守りが必要。 ・床がコンクリートのため、児童転倒時は危険。運動遊びなどでは、床にできる限りマットを敷き、転倒時のけが防止に配慮している事、移動の際は手を繋ぐなど安全に留意している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防のこともあり、児童降園後はこまめに消毒や清掃を行っている。全面的な園舎消毒と清掃は年に2回行っている。 ・園舎の老朽化もあり、ドアが開けづらかったり、壁に穴が開いていたり、少し汚れているところもあるが、修繕を随時行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス間だけでなく、指導室全体の指導会議等を通じて連携をしている。特に年度末は、指導室全体の支援を総合的に振り返る機会を設け、次年度の支援内容について話し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や親子通園などを通して保護者の要望や願いなど聞く機会がある。そういったことがあった場合は、職員全体で共有し、出来る限り保護者の要望に寄り添った対応を心掛けている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・公開している

	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15	0	・埼玉県の指導監査、戸田市の法人監査及びヒアリングを受け施設運営、法人運営の改善に取り組んでいる。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	2	・感染症の影響もあり外部への研修は行かれない中、リモートでの研修に参加した。また、外部研修が難しかったが、内部研修や課内研修の充実を図った。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	15	0	・日常の児童の様子だけでなく、運動発達ケース会、精神発達ケース会、支援会議等で、アセスメントを行い、それらを基に支援計画を作成している。また、親子通園や計画相談、モニタリングでの保護者面接を通して保護者のニーズを把握している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	0	・遠城寺式発達検査、津守式発達検査など使用し年2回程度実施。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	・生活習慣、運動、遊び、社会性、親子遊びなど学園なりの視点で支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	・支援計画を基にしなが、日々の療育を実践している。また、中間評価で振り返りも行いながら児童個々の成長に合わせた支援を心掛けている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15	0	・やりたいことを伝えあって、考えている。 ・日常の振り返りと共に、翌日の活動プログラムを日々話し合っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	14	1	・工夫はしているもののマンネリ化しているところもある。そのため、上司や地域支援職員スタッフ、他クラスの職員、OT、小児神経科 Dr などクラス以外の職員の意見を参考にし、児童の発達や興味に沿ったプログラム展開ができるよう工夫努力をしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	15	0	・子どもの発達状況や行動特性などを考慮しながら、個別に丁寧に関わったり、グループ活動、大人を軸としながら集団活動を取り入れている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	0	・事前に確認するとともに、活動中でも職員間で声を掛け合いながら、自分や他職員の役割、動きを確認し合っている。 ・日課はボードで確認し、大切な部分は口頭で確認。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	13	2	・じっくりと時間は取れないが、掃除しながら振り返りをしている。 ・会議等がある日や他の業務との兼ね合いからできない日もあった。そのため、重要な情報共有の場合は、翌日の朝の打ち合わせで確認している。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	1	・職員個々が児童の状況等、月間記録に記載している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	15	0	・支援会議等で中間評価を行い、見直しが必要か判断している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15	0	・基本的に、クラスの担当職員、児童発達支援管理責任者など子どもや家族の全体像を把握している職員が参画している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	15	0	・母子保健とは相談時も含め、日常的に連携している。また、必要に応じて支援会議を実施している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	1	・保健師や、保健所、関わっている医療機関スタッフと本児の状況や家族の全体像について情報共有している。また、医療機関への受診、訓練等での様子については保護者から丁寧に聞き取りをするようにしている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10	5	・基本的には保護者から丁寧に聞き取りを行っている。必要に応じては担当職員が保護者と同行し、訓練先や主治医の話を聞く機会を設けてもらうこともある。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	0	・必要に応じて、情報共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	0	・就学先に関しては保護者の同意のもと移行前に情報共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	4	・児童発達支援事業所と並行して利用している児童も増加しているため学園内部にある相談支援事業所が媒介となり、事業所と連携している。県では、発達障害総合支援センター、地域療育センターなどの専門機関があり、例年は、その機関が主催する研修などに参加しているが、今年度は開催されていない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	4	・例年は行っているが、今年度は感染症予防のため実施していない。

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・蕨市の自立支援協議会に施設長が参加。 ・戸田市蕨市の公立園、私立園の園長会などにも必要に応じて参加。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ではないが、児童送迎時や親子通園時に子どもの状況について話している。また、連絡帳を通じて保護者から子どもの様子を聞き、必要に応じて話し合いの場を設けている。 ・親子通園が中止となった際は、クラスたよりや電話連絡を行っていた。 ・共通理解できていると思うが、子どもの状況など例年より話す機会が少なくなっている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	14	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の障害、発達状況や家族の養育スタイルは、個々異なるため、親子通園など家族支援の場で丁寧に関わり方や支援の課題など確認し合っている。ペアレントトレーニングなどの具体的な支援プログラムについては、職員も研修しながら今後取り入れていくか検討していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約説明会で丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに示されている支援内容と40年間の学園の療育実践の積み重ねである支援内容は、一致する部分が多い。学園の「総合療育指導計画」として整理されている。保護者へは「あすなろ学園しおり」に要約化し、保護者に説明している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の相談内容によっては随時面接を実施している。また、相談内容によっては関係機関との連携も図っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの関係で保護者会は今年度未実施だが、クラス懇談会を通して、保護者同士で我が子の紹介をしたり、悩みを話す中で親同士の繋がりが出来るようにしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容によって対応する職員を整えている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学園内たよりを基本月2回、学園広報誌を年2回発行している。また、クラスごとに随時クラスの活動内容、子どもの様子等を伝えるたよりを発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	15	0	<ul style="list-style-type: none"> ・「業務要綱、業務マニュアル」等で、個人情報保護について、留意事項等を明確にするとともに、具体的対策を示し行っている。ファイル、USBの持ち出し禁止。ファイル棚の施錠の徹底等。

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	0	・言語でのコミュニケーションが難しい児童に対しては、視覚的な手掛かりや、表情、ジェスチャーなど本人に伝わりやすいコミュニケーション方法を保護者と一緒に考えながら関わっている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	6	・感染症対策のため、今年度外部は招いていない。 ・近隣在住を招待してはいるが、園庭行事等は音響による影響が及ぶため、説明文書を配布し理解を求めている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15	0	・それぞれのマニュアルを策定し、職員、保護者に周知している。火災避難訓練、地震避難訓練、洪水避難訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	0	火災避難訓練毎月、地震避難訓練年2回、洪水避難訓練年1回実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	15	0	・児童利用状況票に保護者から記載してもらい、児童健康情報に全児童の情報をまとめ、職員に配布し確認している。てんかん発作についても、対処法を一覧にまとめ各クラス、バス内、職員室に掲示している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	15	0	・医師の診断書、アレルギー除去確認表を保護者に提出してもらい、保護者と栄養士、担任と3者面接を行い情報共有。また、確認後は全職員にも周知している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	0	・ヒヤリハット集に記載前に、全職員に事の経緯を説明している。また、記録は各クラス、職員室にファイル確認している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	0	・職場内でも書面やビデオなど様々な形で行っている。 ・関係機関、自治体が主催する要保護児童対策協議会の研修に積極的に参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	15	0	・バス乗車児童で立ち上がる児童に対して抑制帯を使用するが、事前に保護者に同意書の提出と、実際しようとなった場合は、事前に直接保護者と確認したうえで行っている。短期間のため、支援計画には記載せず、月間に記載。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。